

平成28年度木津川市一般会計 補正予算第3号について（概要）

総務部財政課

平成28年度補正予算第3号は、地方創生推進交付金を活用した取組の追加など、国・府の制度の活用や制度改正への対応、6月発生豪雨による災害復旧と今後の防災・減災対策の推進、さらに新学校給食センターの整備に向けた用地取得費といった次年度以降の事業展開のための予算などを計上するものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

補正前	310億4,263万7,000円
補正額	4億957万9,000円（1.3%増）
補正後	314億5,221万6,000円

2 予算の内容

【主な歳入】

◎市税

固定資産税現年課税分	1億2,380万0,000円増
都市計画税現年課税分	520万0,000円増

◎地方交付税・普通交付税	△6,005万3,000円減
--------------	----------------

◎国庫支出金

通知カード・個人番号カード受託事務交付金	1,836万2,000円増
地方創生推進交付金	659万6,000円増
子ども農山漁村交流推進モデル事業国庫補助金	21万4,000円
地域介護・福祉空間整備等交付金	393万8,000円

◎府支出金

木造耐震改修事業費府補助金	60万0,000円増
---------------	------------

◎寄附金

社会教育指定寄附金	200万0,000円
-----------	------------

◎繰入金

財政調整基金繰入金	1億5,358万1,000円増
公共施設等整備基金繰入金	1,000万0,000円増
介護保険特別会計繰入金	1,001万6,000円

◎市債

学校給食センター整備事業債	1億4,780万0,000円
臨時財政対策債	△3,107万2,000円減
農林水産業施設災害復旧事業債	70万0,000円
公共土木施設災害復旧事業債	550万0,000円

【主な歳出】

◎国・府の制度改正、制度活用による施策の充実

「地方創生推進交付金」の活用

【木津川市ふるさと応援事業】(まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費)

1まち1キャンパス事業 200万0,000円

加茂地域でのおもてなし魅力発信事業 250万0,000円

【きづがわスマートウェルネスシティプロジェクト事業費】

健幸クラウドシステム導入による健康課題等の分析

895万0,000円

子ども農山漁村交流推進事業費 24万5,000円

個人番号カード発行対応(住民基本台帳ネットワークシステム整備事業費)

1,836万2,000円増

介護ロボット等導入支援事業費 393万8,000円

予防接種事業費 766万7,000円増

◎災害復旧

農地災害復旧事業費 30万円増

農業用施設災害復旧事業費 230万0,000円増

道路橋りょう災害復旧事業費 199万8,000円増

◎防災・減災対策

本庁舎自家発電用燃料ポンプ電源移設(庁舎管理事業費)

420万3,000円

児童福祉施設非構造部材耐震対策(児童福祉事務事業費)

207万4,000円

ため池の調査・点検(ため池維持管理事業費) 750万0,000円

耐震シェルター設置補助(木造住宅耐震診断改修事業費)

120万0,000円

◎次年度以降の事業展開のために

木津中央地区土地取得費(都市計画事務事業費)

1億4,658万2,000円

小中学校児童生徒数増加対応備品購入(木津小学校・梅美台小学校・城山台小学校・木津中学校・木津第二中学校・木津南中学校学校管理事業費、梅美台小学校・城山台小学校教育振興事業費)

1,275万1,000円増

新設学校給食センター建設用地取得費 1億6,427万8,000円

科		項		目		
所	記載例					
事						
市総合計画 (基本計画) の位置付け						
事業期間	新規・継続					
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前						
補正額						
補正後						
補正予算額の 主な内訳	金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、()内に補正後の予算額を記載していますが、予算の用途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を()内に記載しています。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。 (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費
所管	総務部 総務課					
事業	85	庁舎管理事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	7章3【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	131,044				44,700	86,344
補正額	4,203					4,203
補正後	135,247				44,700	90,547
補正予算額の 主な内訳	庁舎改修工事費:4,203千円増(5,085千円) 現在、自家発電機に重油を送るモーターポンプの電源が本庁1階にあり、水没した場合、機能しないことが判明したことから、自家発電用燃料ポンプ電源を本庁3階へ移設するため、所要の補正を行う。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	来庁者の利便性や安全性を確保するとともに、庁舎における快適な執務環境を維持し、円滑な事務の執行を図る。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等	環境に優しい庁舎という方針の基、組織全体で経費削減、省エネに取り組む。					

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
所 管	マチオモイ部 学研企画課					
事 業	3632	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章2【まちづくりへの参画と協働の創造】 市民と行政のパートナーシップの推進					
事 業 期 間	平成27年度から		新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	318					318
補 正 額	4,500	2,250				2,250
補 正 後	4,818	2,250				2,568
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【地方創生推進交付金(木津川市ふるさと応援事業)】 ふるさと応援事業補助金:4,500千円皆増 ①京都府による「1まち1キャンパス事業」として、京都大学が学校教育への地域リソースの活用を学ぶとともに、地元高校生のまちづくりへの関心を高めるため、南陽高校および地域住民との連携による観光など創生事業に対する補助(2,000千円)。 ②近年増加する大仏鉄道ハイカーなどを対象としたおもてなし魅力発信に対する補助(2,500千円)。					
主な特定財源	地方創生推進交付金:2,250千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)第10条に基づく、「木津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等	誰もが「住みたい・住み続けたい・住んでよかった」と思える活力と魅力あるまちづくりが推進できる。					

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
所 管	マチオモイ部 学研企画課					
事 業	3670	子ども農山漁村交流推進事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間	平成28年度から		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	245	214			30	1
補 正 後	245	214			30	1
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	普通旅費:5千円皆増、消耗品費:20千円皆増、通信運搬費:10千円皆増、施設使用料:210千円皆増 農山村地域(笠置町)での宿泊体験、農作業体験等を通じた子どもたちの生きる力の育成を図るため、笠置町と連携し国の制度を活用したモデル事業に取り組む。 こどもエコクラブ会員が参加し、エコクラブリーダーの引率のもと平成29年1月28日(土)~29日(日)の実施を予定。(参加者20名、引率者5名)					
主な特定財源	子ども農山漁村交流推進モデル事業国庫補助金:214千円、子ども農山漁村交流推進モデル事業参加料:30千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	農山漁村における宿泊・生活体験等を通じた異世代間交流によるコミュニケーション能力の向上と、子どもたちの生きる力を育む。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	総務費	項	総務管理費	目	電子計算費
所 管	マチオモイ部 学研企画課					
事 業	209	基幹業務システム維持管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	171,550	9,718				161,832
補 正 額	1,570	1,046				524
補 正 後	173,120	10,764				162,356
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	電算システム等委託料:1,570千円増(70,329千円) 社会保障・税番号制度により国が整備を進める情報提供ネットワークシステムの運用に向け、既存システムから中間サーバーを通じた情報提供・照会に関する総合運用テストを実施するため、所要の補正を行う。 ※子ども子育て支援システム208,980円、生活保護システム540,000円、健康管理システム820,800円					
主 な 特 定 財 源	社会保障・税番号制度システム整備事業費国庫補助金:1,046千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	京都府・市町村共同開発システムなどの基幹系業務システムを安定的に稼働させ、行政運営の効率化を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	総務費	項	戸籍住民基本台帳費	目	戸籍住民基本台帳費
所 管	市民部 市民課					
事 業	465	住民基本台帳ネットワークシステム整備事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	7章3 【まちづくりへの参画と協働の創造】 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	18,471	7,844			9,046	1,581
補 正 額	18,362	18,362				
補 正 後	36,833	26,206			9,046	1,581
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	通知カード・個人番号カード関連事務委託料:18,362千円増(23,832千円) 平成28年度における通知カード・個人番号カード関連事務の委任等に係る交付金上限見込額がJ-LIS(地方公共団体情報システム機構)から通知されたことに伴い、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	通知カード・個人番号カード受託事務交付金:18,362千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	住民基本台帳ネットワークの厳正な管理に努める。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	民生費	項	社会福祉費	目	介護保険費
所 管	健康福祉部 高齢介護課					
事 業	3669	介護ロボット等導入支援事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章2 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 ともに支え合う地域福祉の充実					
事 業 期 間	平成28年度			新規・継続		新規
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	3,938	3,938				
補 正 後	3,938	3,938				
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	介護ロボット等導入支援事業補助金:3,938千円皆増 平成27年度国の補正予算により創設されたもので、介護従事者の介護負担の軽減を図る取組が推進されるよう、 介護サービス事業者の負担が大きい介護ロボットの導入を支援するため、所要の補正を行う。 ※1機器あたり20万円超のもので、国から市に示された事業所ごとの内示額を補助する。平成28年度限り。					
主 な 特 定 財 源	地域介護・福祉空間整備等交付金:3,938千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	介護従事者の介護負担の軽減を図る取組が推進されるよう、一定額以上(20万円超)の介護ロボットを介護保険施設・事業所へ導入する費用を助成する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉総務費
所 管	健康福祉部 こども宝課					
事 業	1069	児童福祉事務事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章1 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	10,654	3,055	517			7,082
補 正 額	2,074					2,074
補 正 後	12,728	3,055	517			9,156
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	消耗品費:2,074千円増(2,084千円) 非構造部材耐震対策として蛍光灯飛散防止カバーを購入するため、所要の補正を行う。 ※保育園に1,924セット、児童クラブに450セット、児童館に186セットを購入する。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	児童福祉推進のための庶務事業					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉施設費
所 管	健康福祉部 こども宝課					
事 業	1121	保育所児童入所委託事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章1 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	948,648	169,084	106,257		205,695	467,612
補 正 額	1,345	775	387			183
補 正 後	949,993	169,859	106,644		205,695	467,795
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	施設型給付費:1,345千円皆増 市外認定こども園の広域利用者の転入に伴い、所要の補正を行う。 また、今後の認定こども園利用者の増加に対応するための予算をあわせて計上する。					
主な特定財源	保育所運営費国庫負担金:775千円、保育運営費府負担金:387千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	民営保育所、市外入所保育所への児童入所委託					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費
所 管	健康福祉部 健康推進課					
事 業	3671	きづがわスマートウェルネスシティプロジェクト事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章2 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 ともに支え合う地域福祉の充実					
事 業 期 間	平成28年度から			新規・継続		新規
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	8,950	4,346				4,604
補 正 後	8,950	4,346				4,604
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【地方創生推進交付金事業(きづがわスマートウェルネスシティプロジェクト事業)】 健康づくり推進協議会委員報酬:146千円皆増、社会保険料:112千円皆増、臨時職員賃金:672千円皆増、費用弁償:10千円皆増、普通旅費:243千円皆増、消耗品費:45千円皆増、健幸クラウドシステム委託料:3,926千円皆増、健幸クラウドシステム等使用料:3,396千円皆増、庁用備品購入費:400千円皆増 医療・介護データなどから、現状分析や将来の医療費予測および施策効果などを解析し「見える化」する健幸クラウドシステムの導入や、スマートウェルネスシティ首長研究会への加入などを行う。					
主な特定財源	地方創生推進交付金:4,346千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	今後急速に高齢化の進行が予測される中、活力ある地域社会を継続させていくために、市民の健康づくりを推進する。					
市民参加の状況	健康づくり推進協議会委員の参画など					
将来にわたる効果等	市民の健康増進と将来医療費・介護給付費の抑制					

科 目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
所 管	健康福祉部 健康推進課					
事 業	1305	予防接種事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章2 【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 ともに支え合う地域福祉の充実					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	199,442		141			199,301
補 正 額	7,667					7,667
補 正 後	207,109		141			206,968
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	消耗品費:7千円増(224千円)、医薬材料費:2,641千円増(100,318千円)、審査手数料:4千円増(300千円)、予防 接種委託料:5,015千円増(103,706千円) 平成28年10月から定期予防接種にB型肝炎ワクチンが追加されたことに伴い、所要の補正を行う。 ※推定接種者数として、1,200名(広域65名、市内1,135名)を見込む。対象者は、1歳に至るまでにある者(た だし、平成28年4月1日以降に生まれた者)と規定し、1歳になる前に3回の接種を終える必要があるもの。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	市民の疾病予防及び公衆衛生の向上を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
所 管	建設部 建設課					
事 業	3672	ため池維持管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	2章2 【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間	平成28年度から			新規・継続		新規
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	7,500				1,500	6,000
補 正 後	7,500				1,500	6,000
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	調査・点検委託料:7,500千円皆増 京都府が平成25年度から平成27年度にかけて府内すべてのため池についての一斉点検を実施した結果を受 け、平成28年度から「木津川市ため池ルネサンス行動計画」(平成27年度策定)に基づき、市内125か所のため池 について、毎年度40か所程度を点検する(4,000千円)。 また、下流に人家や公共施設が存在し、施設が決壊した場合に影響を与えるおそれがある防災重点ため池を選 定する(3,500千円)。					
主 な 特 定 財 源	京土連会員支援事業交付金:1,500千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	ため池の維持管理を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	商工費	項	商工費	目	商工業振興費
所 管	マチオモイ部 観光商工課					
事 業	1701	商工業振興事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	48,283					48,283
補 正 額	400					400
補 正 後	48,683					48,683
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	木津川市木造住宅耐震改修等サポート補助金:400千円増(2,100千円) 現行の本格耐震改修および簡易耐震改修に対する補助と同様に、市内に事業所を有する業者により施工された場合に上乘せ補助(市単費)を行う(100千円×4件)。 ※設置等に要する経費(シェルター設置補助金を除く)の2分の1(上限100千円)を補助。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	地域商業の活性化を図るため、商工会への補助、中小企業への支援等を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	土木費	項	土木管理費	目	建築指導費
所 管	建設部 都市計画課					
事 業	3270	木造住宅耐震診断改修事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	5,654		1,525	2,675		1,454
補 正 額	1,200			600		600
補 正 後	6,854		1,525	3,275		2,054
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	木造住宅耐震シェルター設置事業補助金:1,200千円皆増 現行の本格耐震改修および簡易耐震改修に対する補助金の交付に、新たに京都府制度を活用した耐震シェルター設置に対する補助金を交付するもの(300千円×4件)。 ※設置等に要する経費の4分の3(上限300千円)を補助。					
主 な 特 定 財 源	木造耐震改修事業費府補助金:600千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	地震に強いまちづくりを推進する。					
市 民 参 加 の 状 況	事業内容を分かり易く周知する。					
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
所 管	建設部 都市計画課					
事 業	1833	都市計画事務事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	5章2 【連携を強め地域を支えるネットワークの創造】 計画的な土地利用と快適な都市環境の形成					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,099				500	599
補 正 額	146,582					146,582
補 正 後	147,681				500	147,181
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	土地購入費:146,582千円皆増 将来のまちづくりに活用するため、都市再生機構所有地を取得する。 ※所在地:木津中央地区3-35街区(城山台9丁目1番)、公簿面積45,970.53㎡、所有者:都市再生機構、鑑定評価額(㎡):約3,189円					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	都市計画全般に関する庶務及び調査等を行う。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2037	木津小学校管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	17,989					17,989
補 正 額	1,751					1,751
補 正 後	19,740					19,740
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	学校備品購入費:1,751千円増(2,227千円) 次年度の児童数・学級数増加に対応するため、学校備品(可動式机椅子セット、折りたたみチェアなど)を購入する。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	小学校の管理運営					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2057	梅美台小学校管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	24,429					24,429
補 正 額	3,239					3,239
補 正 後	27,668					27,668
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	学校備品購入費:3,239千円増(3,836千円) 次年度の児童数・教職員数・学級数増加に対応するため、学校備品(児童用机・椅子など)を購入する。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	小学校の管理運営					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3585	城山台小学校管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間	平成26年度から			新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	14,961					14,961
補 正 額	3,319					3,319
補 正 後	18,280					18,280
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	学校備品購入費:3,319千円増(3,727千円) 次年度の児童数・学級数増加に対応するため、学校備品(児童用机・椅子など)を購入する。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	小学校の管理運営					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2113	梅美台小学校教育振興事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	3,585					3,585
補 正 額	377					377
補 正 後	3,962					3,962
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	教材用備品購入費:377千円増(1,318千円) 次年度の児童数・学級数増加に対応するため、教材用備品(スクールキーボード、CDポータブルシステムなど)を購入する。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	地域や学校の実態を十分配慮した教育目標を設定し、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指す。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	小学校費	目	教育振興費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3586	城山台小学校教育振興事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間	平成26年度から			新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1,483					1,483
補 正 額	241					241
補 正 後	1,724					1,724
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	教材用備品購入費:241千円増(818千円) 次年度の児童数・教職員数・学級数増加に対応するため、教材用備品(黒板拭きクリーナー、ポータブルCDシステムなど)を購入する。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	地域や学校の実態を十分配慮した教育目標を設定し、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指す。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2161	木津中学校管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	18,577					18,577
補 正 額	864					864
補 正 後	19,441					19,441
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	学校備品購入費:864千円増(1,394千円) 次年度の生徒数増加に対応するため、学校備品(机・椅子)を購入する。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	中学校の管理運営					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	2165	木津第二中学校管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	20,896					20,896
補 正 額	734					734
補 正 後	21,630					21,630
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	学校備品購入費:734千円増(1,307千円) 次年度の生徒数・学級数増加に対応するため、学校備品(机・椅子)を購入する。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	中学校の管理運営					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3466	木津南中学校管理事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間	平成23年度から		新規・継続		継続	
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	22,237					22,237
補 正 額	2,226					2,226
補 正 後	24,463					24,463
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	学校備品購入費:2,226千円増(2,825千円) 次年度の生徒数・教職員数・学級数増加に対応するため、学校備品(机・椅子など)を購入する。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	中学校の管理運営					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2354	中央図書館運営事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章3 【豊かな心を育む教育・文化の創造】 生涯にわたる学習機会の充実					
事 業 期 間			新規・継続		継続	
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	26,541				18	26,523
補 正 額	1,000				1,000	
補 正 後	27,541				1,018	26,523
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	図書等購入費:1,000千円増(7,150千円) 篤志者からの寄附(平成28年7月22日)による図書の購入のため、所要の補正を行う。					
主 な 特 定 財 源	社会教育指定寄附金:1,000千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	生涯学習の中核施設として市民の役に立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2355	加茂図書館運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	14,448				2	14,446
補正額	500				500	
補正後	14,948				502	14,446
補正予算額の 主な内訳	図書等購入費:500千円増(4,250千円) 篤志者からの寄附(平成28年7月22日)による図書の購入のため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	社会教育指定寄附金:500千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生涯学習の中核施設として市民の役に立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
所 管	教育部 社会教育課					
事 業	2356	山城図書館運営事業費				
市総合計画 (基本計画) の位置付け	4章3【豊かな心を育む教育・文化の創造】生涯にわたる学習機会の充実					
事業期間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補正前	11,956				7	11,949
補正額	500				500	
補正後	12,456				507	11,949
補正予算額の 主な内訳	図書等購入費:500千円増(4,250千円) 篤志者からの寄附(平成28年7月22日)による図書の購入のため、所要の補正を行う。					
主な特定財源	社会教育指定寄附金:500千円					
政策を必要とする 背景及び提案の経緯	生涯学習の中核施設として市民の役に立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	教育費	項	保健体育費	目	学校給食費
所 管	教育部 学校教育課					
事 業	3354	新設学校給食センター建設事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	4章2【豊かな心を育む教育・文化の創造】一人ひとりの子どもの可能性を伸ばす教育の充実と地域連携					
事 業 期 間	平成28年度から		新規・継続		新規	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前						
補 正 額	164,278			147,800	10,000	6,478
補 正 後	164,278			147,800	10,000	6,478
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	土地購入費:164,278千円皆増 新設学校給食センター建設用地を購入するため、所要の補正を行う。 ※所在地:梅美台八丁目2番2、公簿面積:14,799.86㎡、所有者:都市再生機構、鑑定評価額(㎡):約11,100円					
主な特定財源	公共施設等整備基金繰入金:10,000千円、学校給食センター整備事業債:147,800千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	木津川市内児童生徒の増加に伴う食数の増加に対応するとともに、木津川市全体の学校給食の質的充実を図るため、新たな学校給食センターを建設し、木津川市立学校給食センターの再編を行う。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	災害復旧費	項	農林水産業施設災害復旧費	目	農地災害復旧費
所 管	建設部 建設課					
事 業	2497	農地災害復旧事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間			新規・継続		継続	
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1					1
補 正 額	300					300
補 正 後	301					301
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【平成28年6月23日発生豪雨災害対応】 工事材料費:300千円皆増 災害地元支給材料費7件分として、所要の補正を行う。 なお、緊急に対応する必要があった被災農地(加茂町北下手(農地法面崩壊)、加茂町北(畦畔崩壊)など)の復旧については、予備費400千円を充用し、対応した。					
主な特定財源						
政策を必要とする背景及び提案の経緯	被災した農地の迅速な復旧及び再度の災害を防止する。					
市 民 参 加 の 状 況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	災害復旧費	項	農林水産業施設災害復旧費	目	農業用施設災害復旧費
所 管	建設部 建設課					
事 業	2501	農業用施設災害復旧事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	2章2【地域力を活かした産業・事業の創造】 地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1					1
補 正 額	2,300			700		1,600
補 正 後	2,301			700		1,601
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【平成28年6月23日発生豪雨災害対応】 災害復旧工事費:2,200千円皆増、工事材料費:100千円皆増 農業用施設災害復旧工事費6件および災害地元支給材料費3件分として、所要の補正を行う。 なお、緊急に対応する必要があった被災施設(梅谷宮ノ谷や加茂町西小における水路法面崩壊など)の復旧については、予備費400千円を充用し、対応した。					
主な特定財源	農林水産業施設災害復旧事業債:700千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	被災した農林水産業施設の迅速な復旧及び再度の災害を防止する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

科 目	款	災害復旧費	項	公共土木施設災害復旧費	目	道路橋りょう災害復旧費
所 管	建設部 管理課					
事 業	2513	道路橋りょう災害復旧事業費				
市 総 合 計 画 (基 本 計 画) の 位 置 付 け	3章1【誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造】 安心・安全、快適なまちづくり					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予算額の概要	本年度予算額	国庫	府	市債	その他	一般財源
補 正 前	1					1
補 正 額	1,998			1,900		98
補 正 後	1,999			1,900		99
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	【平成28年6月23日・25日発生豪雨災害対応】 道路橋りょう災害復旧工事費:1,998千円皆増 市道加2085線加茂町西小地内の災害復旧工事費(コンクリートブロック積工事)として、所要の補正を行う。 なお、緊急に対応する必要があった被災道路(山城町神童子、加茂町高田など)の復旧については、災害復旧事業費に対して予備費6,000千円を充用し、対応した。 また、緊急に対応する必要があった被災河川(加茂町南下手および加茂町辻)の復旧についても、災害復旧事業費において予備費2,700千円を充用し、対応した。					
主な特定財源	公共土木施設災害復旧事業債:1,900千円					
政策を必要とする背景及び提案の経緯	被災した公共土木施設の迅速な復旧及び再度の災害を防止する。					
市民参加の状況						
将来にわたる効果等						

地方創生推進交付金対応事業一覧

※網掛けが、補正予算第3号によるものを示す。

【広域連携事業】

(単位:千円)

No.	事業名	事業概要	関係市町村	事業費(木津川市分)	予算事業名(所管課)	予算科目	予算額	主な取組内容	交付金既定予算額	交付金申請予定額(第2回)
1	山背古道アナログ遊びプロジェクト	「(仮称)お茶の京都DMO」を視野に入れた来訪環境の向上を目指すプロジェクトを新たに展開する。「古道＝ウォーキング」の固定概念を脱却し、「デジタル機器を活用したアナログ遊び」を導入するもの	城陽市 井手町 木津川市	2,025	観光振興事業費(観光商工課)	山背古道推進協議会負担金	2,025	アプリの作成 マップ、のぼり作成 フォトコンテスト開催 アナログ遊びプロジェクト ウェルカムプロジェクト	1,012	-

【単独事業】

No.	事業名	事業概要	総事業費	取組事業	予算事業名(所管課)	予算科目	予算額	主な取組内容	交付金既定予算額	交付金申請予定額(第2回)
1	子ども育マチまるごと戦略	学校の空き教室等を活用し、地域の方々が集える場所、子どもたちには、学習や指導を受けたり会話ができる場所を創るもの	5,672	①イングリッシュカフェ ②茶道体験 ③子育て支援ホームページ作成	子どもと地域をつなぐ居場所づくり事業費(学校教育課)	講師謝礼	246	イングリッシュカフェ支援 茶道体験支援	123	-
						消耗品費	350	英語教材、開設準備消耗品	175	
						児童福祉事務事業費(こども宝課)	ホームページ作成委託料	5,076	ホームページ作成	
2	木津川市ふるさと応援事業	市内で頑張る個人、団体による総合戦略推進を目的とした提案事業に対する補助	4,500	①京都大学と南陽高校及び地域住民の連携による観光など創生事業 ②加茂地域でのおもてなし魅力発信事業	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費(学研企画課)	ふるさと応援事業補助金	4,500	①京都大学生の現地調査及び地域住民や南陽高校との交流による創生事業の検討 ②近年増加する大仏鉄道ハイカーなどを対象としたおもてなし魅力発信	-	2,250
3	きづがわスマートウェルネスシティプロジェクト事業	医療データや介護データなどから、現状分析や将来の医療費予測及び施策効果などを解析し「見える化」する健康クラウドシステムを導入する	8,950	①スマートウェルネスシティ首長研究会への加入 ②健幸クラウドシステム導入	きづがわスマートウェルネスシティプロジェクト事業費(健康推進課)	健康づくり推進協議会委員報酬	146	協議会の開催等	-	73
						社会保険料	112	入力作業補助臨時職員の雇用	-	56
						臨時職員賃金	672		-	336
						費用弁償	10	健康づくり推進協議会委員用	-	5
						普通旅費	243	研究会(筑波大学東京キャンパス)旅費	-	0
						消耗品費	45	コピー代、研究会資料	-	15
						健幸クラウドシステム委託料	3,926	システム運営管理・専用ネットワーク設置費	-	1,963
						健幸クラウドシステム等使用料	3,396	クラウドシステム使用料・PCライセンス料	-	1,698
						庁用備品購入費	400	事業用パソコン・プリンター購入費	-	200
合計									2,836	6,596
地方創生推進交付金									3,848	6,596

		補正予算第3号
事業費		13,450
地方創生推進交付金		6,596
一般財源		6,854